

令和3年5月 市長定例記者会見

令和3年4月27日(火)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいまより令和3年5月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

【秘書広報課長補佐】 本日の会見の進行につきまして、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては事業発表についてからお願いしたいと思います。事業発表に係る質疑応答終了の後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、お手数でございますが、まず挙手をお願いいたします。そして、ご自席のマイクのスイッチを入れていただきまして、ご質問の後はお切りいただきますようお願い申し上げます。

終了は14時30分を予定しております。ご協力のほどお願いいたします。

それでは、市長、よろしくをお願いいたします。

【市長】 では、5月定例記者会見、どうぞよろしくお願いいたします。

連休前ですけれども、県のほうで緊急事態宣言が発令されまして、敦賀でも子供さんを中心にたくさん感染者が出ております。その中で、一部施設も閉鎖しておりますので、非常にご迷惑をおかけしますけれども、市民の皆様の安全、安心が一番大事だと思って判断しておりますので、どうかよろしくをお願いいたします。

そしてまた、今日とは出ていないということで、一旦収まりかけておりますが、検査した人たちが自分たちは陰性だったからもうどこへ行ってもいいんだというふうに判断されるのではなくて、もしかしたら発熱とか体調が悪くなるかもしれませんので、しばらくは家のほうで自分の体調をしばらく見ていただきたいと思います。それを過ぎてやっと収まるかなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今日は、発表項目1つの項目ですけれども、どうかよろしくお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 では、事業発表をいたします。

本日は、親子のフェスティバルの開催ということで1項でございます。

第39回「親子のフェスティバル」の開催についてでございます。

親子の触れ合い、仲間との触れ合い、地域との触れ合い、自然との触れ合いを通じて青少年の健全育成を図ることを目的に、親子のフェスティバルを開催しており、昨年度はコロナ感染拡大防止のために中止となりましたが、今年は感染リスクを抑えた新しいスタイルの親子のフェスティバルを開催したいと考えております。

親子のフェスティバルの一番の楽しさでもある体験プログラムを嶺南ケーブルネットワークのテレビ画面からご家族で楽しく体験していただく企画、簡単な科学実験や、よく飛ぶ飛行機づくりなどを考えております。YouTubeでも同時配信するということであります。放送時間は、5月16日日曜日10時から12時までで、事前に家庭で材料を準備していただいて、テレビ放送と同時にものづくりを体験していただきます。

また、敦賀市公認キャラクターのツヌガ君と一緒に、敦賀のいろいろな場所へ潜入リポートをいたします。

また、都合で番組を見ることができない場合でも、後からYouTubeで見ることが可能です。

今年は、親子のフェスティバルを新しい形で楽しんでいただきたいと思います。詳しくは、お手度瀬の資料をご覧くださいと思います。

発表項目は以上です。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問を受けさせていただきたいと思います。最初に幹事社さんのほうからお願いいたします。

〔なし〕

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきましてご質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【教育委員会事務局長】 補足でございます。教育委員会事務局でございます。

チラシの番組スケジュールの裏面をお願いします。

こちら、きらめきみなと館が会場ということになりますけれども、生放送という部分につきましては、また今後の感染状況によりましては、一部事前収録ということで録画配信のようなどころもあるかと思いますが、ご了承いただきたいと思います。

以上でございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、次第の3番、フリーの質疑応答へと移りたいと思います。幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 私からは、3点お願いします。

まず、小学校でのクラスター対応についてなんですけれども、やはり再発防止というかそういった点が必要だと思っていて、感染防止を徹底している小学校の現場で広がったということの原因究明というか、その今の進捗具合、もしあれば教えてもらいたいのが1点です。

2点目が、今始まっているコロナワクチン接種の予約状況などで、混乱などが出ていないかということ。そして、そのほか例えば一般の接種とかそういったスケジュールなど、これまでから変わった点があればお伺いしたいなと思います。

3点目が、明日にもと言われている知事の40年超運転再稼働同意について、今日の時点での所感をお聞かせいただけたらなと思います。

以上3点です。よろしく申し上げます。

【市長】 小学校のクラスターということにつきましては、国のクラスター班とか県のほうでも見ていただいておりますけれども、私の所感からしますと、無症状でなかなか本人が気づかないうちにうつっていたんじゃないかなというふうに思っています。ですから、ちょっと体調悪いかなぐらいで少し聞き取りをしていかなくは分からないレベルなんじゃないかなというような感覚を持っています。

それから、予約状況については昨日、4月26日、1日で113件ということで、一時期電話がつながりにくい状態にもなったということを知っておりますが、総じて全員が多分予約できたんだというふうに思っています。

それから、原子力の再稼働の関係ですけれども、今から判断されるということで、私の

ほうからコメントは差し控えたいなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。

【教育長】 教育委員会でございます。

原因究明ということで、ご質問がございますけれども、今ほど市長のほうからもコメントがございましたように、保健所等のほうでは十分な対応ということについて検討しているところだというふうに聞いております。ただ、その折に、今後再発防止ということがまず我々としての仕事になると思っておりますので、マスクの着用、手洗いの励行はもとよりなんですけれども、換気、消毒、さらには給食時の感染症対策というんですか、同一方向を見ながら給食を食べるとか、できるだけ静かに食べるとかというふうなことが必要であるというふうに保健所のほうからは指示されておりますので、今後、全ての学校においてそのような対応をしていきたいなというふうに考えております。

【福祉保健部長】 福祉保健部のほうからは、ワクチン接種の状況等についてお話をさせていただきますと思います。

先ほど市長も申しましたとおり、昨日は113件の予約というところがございますが、まず敦賀市の場合、4月26日月曜日からは介護事業所、子育て支援施設にお勤めの方というところでの予約開始というふうになっておりますので、本日正午現在での予約状況は22件、合計135件というような状況でございます。昨日始まったときには少し予約以外のご相談の方等もありまして混み合いましたが、それ以降は落ち着いている状況でございます。この後、明日からは、仕事で医療、介護、子育て支援施設、学校等に出入りしている方の予約が始まりまして、5月1日土曜日からはそれ以外の一般の方という形になっておりますので、5月1日以降の予約の電話対応等がちょっと気になるころではありますが、またそのときに応じて対応させていただきたいと思っておりますし、5月1日からにつきましては、インターネット等のウェブ上での予約も開始されますので、そちらをご利用できる方はそちらのほうでも予約をしていただきたいと思っております。

また、一般の予約スケジュール等というところがございますけれども、何分、敦賀市に入ってくるワクチンの量が確定しておりませんが、この状況でいきますと高齢者の接種が7月中旬程度には7割程度ができるのではないかなというふうには想定しております。100%の接種件数をする場合は8月中旬ぐらいまではかかるかなと思っておりますので、国のほうからも、ある程度高齢者が終わった段階で基礎疾患等をお持ちの方、64歳未満の方に移行していくようなところで計画をというふうな指示も来ておりますので、大体7月中旬、8月頃からになるのではないかなというふうに今のところの推定というふうな状況でございます。

以上でございます。

【記者】 ありがとうございます。

1点だけ再質問というか、小学校の話なんですけれども、例えば給食時のいわゆるスクール方式とかといって同一方向を向いてというのは、結構やっていたと思うんですね、これまでも。その中で、男子も女子も満遍なくうつっていたので、果たしてどういう場面で想定されることがあったのかなというのが本当に不思議なので、そこが分かると何か対策が取れるんじゃないかなというふうに思っているのです、その調査というのは何か進んだりしてないんですか。

【教育長】 私どももそれが分かれば本当に各学校のほうで対応できるんですけども、先ほども申しましたように保健所の資料等というのは学校のほうから吸い上げて対応しておりますので、その指示を待つというふうな形になるんです。ただ、給食が感染の機会なのかどうかということも保健所としてははっきりしている状況ではございませんので、給食のみならず全ての学習機会を捉えて、学校の在校時間を含めての話になると思います。我々として考え得ることは全てやり終えているという状況ですので、保健所からの指示を待ちたいなと思っております。

先ほどちょっと市長のほうからも話がありましたように、現在、PCR検査で陰性と判断された子供さんにつきましても陽性になる可能性もございますので、その点をご家庭のほうで十分見ていただけたらなというふうな思いもございますので、今後、学校のほうでも検温等、十分見ていただいて、受入れをしていくという方向でやっていきたいなと思っております。

【市長】 先ほどちょっと言いましたけれども、国のクラスター班も調査に入ったというふうに聞いていますので、その中で何らかの指示が出るかもしれませんし、皆さん非常に重要視していただいているというのは間違いないというふうに思っています。

【秘書広報課長補佐】 ほかよろしいでしょうか。

それでは、各社にお伺いいたします。ご質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 今月でしたかね、敦賀市の保育士の方が逮捕された件で、市としても聞き取りを行って、起訴内容を認める発言があったということで処分を下されたと思うんですけども、改めて、保育士という立場の方がこういった罪を犯したということを市としてどう捉えているかということと、あとは聞き取りをある程度終えているかと思うので、どういう状況があったかということもある程度把握されているのかなと思うんですが、そういった状況を踏まえて、再発防止策をどういうふうに考えているかをお聞かせください。

【市長】 一つは、市民の皆さん、また保護者、子供たちにとって安心の存在であるべき保育士がそういう行為をしたということで、誠に申し訳ないと思っております。

それから、行為の詳細につきましては、分からないんです。調査中というか、捜査中というんですかね。聞き取りを弁護士さんにお聞きしても、そこは教えられないということで、分からないので、私どもが分かる範囲の対策を取ろうということで準備をしているところです。ですから、保育士が1人になる場所、もしくはお子さんと1対1になるような場所というところに何らかのちゃんと見える化をしていこうというようなことを進めていこうというふうに考えています。

【記者】 見える化というのは、具体的にいうとどういったものですか。

【市長】 例えば、防犯カメラなんかをつけてしまいますと解像度が良過ぎてプライバシーの侵害になりますので、解像度の悪い、わざと悪くしたような防犯カメラとか、もしくは戸で仕切ってあるところをすりガラスみたいな向こう側が何となく見えるような仕掛けにするとか、そういうところで死角をなくしていくような仕掛けにしていきたいというふうに考えています。

【副市長】 再発防止策、検討しているところでございます。そうした中で、まずは保育士さんの意識の向上と申しますか、倫理観の向上と申しますか、そういったものの研修を

やりたいなと思っております。それから、報道等でも出ておりますように、市長も申し上げましたが、一人になったときにということでございましたので、まずは一人になる機会をつくらない。必ずほかの人の目が届いているといえますか、あるいは必ず2人で当たるような体制を取りたいと。さらに、それでも足りないということになりますと、場合によっては市長が申し上げましたように、カメラがいいのかどうかはちょっと分かりませんが、そういったものも含めて検討しております。

再発防止策がまとまりましたら、また保護者の方にもご説明というかご報告というか、それはしなければいけないなと思っておりますが、今こういう状況でございますので、どういった方法でお知らせするかということも含めて検討しているところでございます。

以上です。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 昨日、全原協として国と自民党に対して要請を行ったと思うんですが、今このタイミングで行った理由というところと、40年超の話も大詰めを迎えている中で、その先を見据えたことの内容も盛り込んだ要請になっているかなと思うんですが。あとは、敦賀という場所にある原発のことも含めて、リプレースや新設も含めて、次のエネルギー基本計画の改定に向けて、どういうことを盛り込んでいくべきだとお考えになって出されたものなのか。その辺を教えてくださいませんか。

【市長】 このタイミングになったというのは、エネルギー基本計画のタイミングということで、今の時期に出したほうがいいだろうということで出させていただいたということです。本当でしたら東京に行つてということになるんですけども、それができないものですから提出する形でさせていただきました。

その中で、今おっしゃったように、原子力の将来にわたった形、将来像をしっかりと出してほしいということと、それから核燃料サイクルの部分はどうしていくのか。それから、最終処分場。もう一つは、学校教育の中でエネルギー政策ということをはっきりと原子力も含めて子供たちに伝えてほしいということを出させていただきました。

ですから、エネルギーの改定は3年ごとにありますけれども、国として長期の力強いエネルギー政策というのを示さないといけないでしょうと。その中で原子力の持つ役割もはっきりと示してほしいというのが私たちの思いとして出させていただいたということです。

【記者】 今、カーボンニュートラルの話も出ていて、かなりエネルギー政策において国としても転換期なんじゃないかなというふうに考えられるんですけども、そういうところでの改定ということになると、原子力政策についてもエネルギーのベースロード電源としての位置づけであるとか、その辺を明確にするということでは、すごく大きいタイミングになるのかなというふうに思うんですが、その辺はどういうふうに市長としては捉えていますでしょうか。

【市長】 今おっしゃるように、非常に大きなタイミングだと思っています。ですから、3年ごとと言いながら今回は非常に注目をしておりますし、しっかりと道筋を示していただきたい。私どもは、水素もやっておりますけれども、脱炭素という部分では原子力は非常に大事ですし、水素とも親和性が高いというところもありますので、そういう中でグリーン成長戦略ということも示してありますし、46%削減ということもありますので、しっか

りここで示していくべきだろうというところは非常に期待しているところです。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 この間、敦賀駅西地区のホテルの起工式がありましたけれども、駅西地区として開発事業が建設スタートというタイミングになりました。北陸新幹線が来るということを見据えた開発事業だと思うんですけども、嶺南の玄関口というふうな位置づけもあるかと思うんですが、あの場所を市長としてはどういうふうな場所と捉えていらっしゃるんですか。どういうふうな場所になるといいなという期待も込められているか。その辺を教えてくださいませんか。

【市長】 いろんな期待があるんですけども、一つは、新幹線が来たときには嶺南全体、周りの市町に人を押し出していけるような仕掛けが必要だというふうに考えていますので、あの施設、ホテルのほかに物販、飲食とかいうのもありますので、その中で嶺南の物産とかを置いて、もしくはパンフレットも置いて、押し出していけるような仕掛けとこのをしたいと。

それからまた、図書館でもない、本屋でもないみたいな本屋さんができるんですけども、みんながそこを訪れるような、市民の皆さんもふだん使いとして使えるような場所にしたいというふうに思っています。

もう一つは、敦賀駅の特徴として、西側に人を押し出してこないとお店があるところとか観光施設があるところにつながりません。いかに西側の魅力をつくっていくかということがありますので、そういう中で、今回の事業というのは魅力ある場所、目的地になる場所ということをしていきたいと思っています。

あと、ホテルができますが、外国人のVIPも泊まれるような場所になってくると、また違った層も来てくれるんじゃないかなということで、いろんな仕掛けをしながら楽しみにしています。

【記者】 どちらかという、新幹線のホーム側という逆側、東側のほうが近いのかなというふうに思うんですけども、あちらから西側に持ってくるということがすごく大事というか、やはりメインというか駅の周辺のところのメインは西地区のあの開発になるということでしょうか。

【市長】 そうですね。東側につきましても開発していきますし、当然、敦賀市の駅東の広場ということで新幹線広場をつくっていきますけれども、川までの隙間という幅があまりありませんので、ですから、あそこに商業施設そんなにたくさんできませんし、バスが止まって、タクシーが止まってという形になると思います。ですから、いかに西に引っ張ってくるかというのが私どものテーマですし、そのためにムービングウォークとかいうのも設置していただくことになりましたから、そういうものを設置しながら、いかにこちらに出てきてもらうか。また、コンコースのところにもデジタルサイネージを設置して、嶺南市町の宣伝もしながら、じゃ降りてみようか、行ってみようかという形にしていきたいというふうに思っています。

【記者】 関連してですけども、現状においての西側の魅力向上という意味で、プロジェクションマッピングが先月から始まりましたけれども、効果というか手応えみたいなものはどのように感じていますか。

【市長】 1日400人ぐらい来ていただける日もあると聞いていますので、今は新しいから、

珍しいからかもしれませんけれども来ていただいているなど。そしてまた、新しいムゼウムのほうも17時のところを19時まで延長して営業するような仕掛けにしていきますので、そういう意味では夜の部分の観光ということにつながっていけばいいなというふうに思っています。

【観光部長】 数的には、多いときで、あくまでも推計でございますが、土日300人。

【市長】 400人と書いてあったけどな。

【観光部長】 400人という日もあります。4月1日、お披露目のときは400人というところ。平日は何十人というレベルでございますが、25日までの推計でございますが約2700人来ていたというような状況でございます。

【記者】 続けてですけれども、人数的には何百人単位で来ているんだなというふうに分かったんですけれども、それは何か周辺の経済活動とかにつながっているというような手応えとかというのはありますでしょうか。

【副市長】 私ども、そういうところを狙ってもいたわけでございますけれども、こういうコロナの状況の中で、なかなかそこまではいっていないのかなというふうに感じております。ただ、うまいもんマップとかそういったものも活用しながら、プロジェクションマッピングを見にといいますか遊びに訪れる方に少しでもまちのほうで食事等をしていただきたいなということで、今後もまたそういう仕掛けをやっていきたいなというふうに思っております。

ゴールデンウィークは、案外期待したんですけれども、ゴールデンウィークはこういう状況になってしまいましたので。何もかもコロナのせいにするのはよくないとは思いますが、これからもっと頑張っていきたいなというふうに思っています。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

それでは、これもちまして5月の市長定例記者会見を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

午後 2時 終了